

施策番号	1104						
施策名	産業の振興と大学教育の充実に向けた産学公地域連携の推進						
概要	産業界と連携し、大学の知の集積を生かした産業の振興と学生の雇用創出を図るとともに、京都のまち全体を研究の実践、体験の場として、大学教育の充実を目指す。						
担当局・部室	総合企画局・市民協働政策推進室	共管局・部室					
上位政策	11 大学						
施策に関係する主な分野別計画等	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画						

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1 市内の大学・短期大学における地域と連携した取組の実施率(%)	-	a	70.3	73.7	73.3	100.5%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	
		a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。	59 11.6%	177 34.8%	195 38.4%	61 12.0%	16 3.1%	508	b
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
	市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言
うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言
うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b	23年度	
(重み付けの理由) 本施策については、市民に成果が実感されることが重要であるため、市民生活実感評価を重視する。							
(原因分析) ・大学と地域との協定の締結や、大学地域連携モデル創造支援事業(学まちコラボ事業)等により、大学と地域が連携して、地域の課題解決やまちの活性化につながる取組が進んでいるが、連携する地域や大学に偏りがあり、市民生活実感評価では、b評価となっている。						年度	-

今後の方針性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	芸術教育振興協会補助	18,081	—	良い	行財政局
2	芸術大学管理運営	327,705	—	良い	行財政局
3	芸術大学整備・改革の推進	107,020	—	良い	行財政局
4	学外機関との共同・受託研究	177,161	—	悪い	行財政局
5	芸術大学の情報発信	375,881	—	かなり良い	行財政局
6	日本伝統音楽研究センター運営	77,701	—	良い	行財政局
7	大学地域連携モデル創造支援事業	7,743	7,695	普通	総合企画局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方針性>

- これまで連携事例の少ない行政区や大学へ積極的に働きかけ、大学と地域が連携して、地域の課題解決やまちの活性化につながる取組の推進を支援することで、京都のまち全体を研究の実践、体験の場とし、大学教育の充実と地域の発展を目指す。

施策名	1104	産業の振興と大学教育の充実に向けた産学公地域連携の推進					
指標名	市内の大学・短期大学における地域と連携した取組の実施率（%）						
担当課	市民協働政策推進室		連絡先	222-3103			
1 指標の説明 市内の大学・短期大学のうち地域と連携した取組を実施している大学等が占める割合							
2 指標の意味 大学教育の充実につながる大学と地域との連携の強化に向けた取組状況を示す指標		3 算出方法・出典等 出典：市民協働政策推進室調べ（地域と連携した取組のある市内大学数÷市内大学数×100）					
4 数値							
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値			
	数値 70.3	73.7	3.4ポイント増	数値 73.3	根拠 平成32年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値 達成度 100.5%		
	全国順位	中長期目標			備考		
	数値 100%	目標年次 32年度	達成度 73.7%	根拠 市内の大学・短期大学の全てで地域と連携した取組を実施			
5 評価基準			6 基準説明				
最新数値の目標値に対する達成度が a : 100%以上 b : 95%以上～100%未満 c : 90%以上～95%未満 d : 85%以上～90%未満 e : 85%未満			・目標値を達成すればa評価 ・以下5%刻みでb～e評価				
7 評価結果							
			23	24			
			-	a			